

甲斐駒ヶ岳 「黄連谷アイス」

日程：2016年12月22日（木）夜～

参加者：HND（CL）、SKD

数年前に計画して天候不良の為に中止になったリベンジ！

昨年同様に冷え込みが悪く、土砂降りの雨の中大阪を離阪しました。

12月23日（金）晴れ～吹雪

竹宇駒ヶ岳神社の下の駐車場から出発。

下から見る限りほとんど雪はついていないので、水の心配があったが、5合目の小屋付近で水が取れない場合は7合目の小屋で購入しようとのことで黒戸尾根を登る。

登りはじめはそれほどだったが、途中からは急登で息が上がる。



※刃渡り尾根

5合目ぐらいまで来てもほとんど雪がなかったが、登山道の脇には少しだけ雪がついていたので水は取れそうだった。



※ 5合目小屋後

本日は黄連谷への偵察に向かった。

5合目から標布に導かれて尾根を忠実に降りることにした。

途中から標布がなくなったが、沢に降りると踏み抜きが怖いので、尾根を1時間ほど下降して黄連谷へのトラバースを開始した。



※尾根を下降するが途中で標布がなくなってしまう…

途中大きなテントが何張もできそうな岩小屋があった。傾斜が少しあるようだが快適そうだった。トラバースを30分強おこなったらかなりの水流の音が聞こえてきた。尾根を何尾根が乗っ越すと目の前に、見事な滝が…？事前の情報では、見事な氷瀑があるはず…。

本流に出てしまったと思った…（思いたかった…）

携帯のGPSで確認すると、間違いなく黄連谷の坊主の滝付近だった…

二人で呆然としたが、激流で全く登れそうにない…



少しでも登れそうな予感がしていたので、ショックだった…
なかなか黄連谷に取り付かせてくれない…

かなり下降していたので、登り返しを思うと疲れが倍増してくる。

その頃には、天候が悪くなり曇から湿った雪が激しく降ってきて、あっという間に積もってきた。

2時間強登り返すと黒戸山の付近の登山道に出た。
思っていた尾根と違う尾根を登ってきてしまったようだったが、上部は標布もあったので、どこからでも黄連谷に下降できるのであろう。
5合目に戻ると30cmぐらいの新雪がつもっていた。



翌日は天候が悪くなり、風が強い予報だったので、ピークを踏まないで下山することにした。

12月24日（土）曇り時々晴れ

下山と決まっていたので、ゆっくり朝食をとりヘッドランプを頼りに下山を開始する。

前日には全く雪のなかった登山道に新雪が積もっている。

下山後の甲斐駒は白く美しかった…

また来年…リベンジします！